

(要旨)

定例経営会議・議事録

年 度	平成30年度	回 数	第8回
日 時	平成30年8月28日 午前9時30分～10時30分		
場 所	庁議室(本庁舎3階)		
出 席 者	渡部市長 荒井副市長 森教育長 南部議会事務局長心得 間野経営政策部長 東村総務部長 武岡地域創生部長 清水市民部長 平岡環境安全部長 大西資源循環部長 山口健康福祉部長 野口子ども家庭部長 粕谷まちづくり部長 野崎教育部長 欠席者:なし		
次 第	1. 開会 2. 報告事項 (1) 補助金に関する調査の実施について (2) 時間外勤務の縮減に向けた取り組みについて (3) その他 3. その他 4. 閉会		
会 議 経 過	次頁参照		

1. 開会(市長あいさつ)

・明後日、8月30日から9月5日まで姉妹都市提携40周年記念事業として、アメリカ、インディペンデンス市に私と伊藤議長を含め総勢37名の訪問団でお伺いする。不在の間、台風等の災害が心配。昨日もゲリラ豪雨で一時は警報が出ている。幸い昨日は特段被害が発生したという話は聞いていないが、万が一の時は遺漏ないよう万全を期してもらいたい。

・7月30日から8月2日にかけて、東京2020オリンピック・パラリンピックホストタウン交流事業として中国蘇州市へ子ども達20名、東村山市サッカー協会の方5名、地域創生部から2名、合計28名の訪問団で行ってきた。衆議院議員の木原誠二代議士と東村山国際文化スポーツ協会町田委員長をはじめ協会の方5名も同行いただいた。木原代議士の計らいで蘇州市の副市長と懇談の場を設けていただいた。蘇州市は人口約1,300万人の都市だが、面談の場を設けていただき、歓迎会も催していただいた。今後も様々な方面で交流を拡大していこうというお話しをすることができ、大変有意義な懇談となった。メイン事業である少年サッカー交流は蘇州市郊外の張家港市というところで行われ、鳳凰中心小学という児童数約1,600名という大規模校でサッカー交流を行ったが、施設の巨大さに驚いた。400mのトラックがあって、真ん中は全部天然芝、サッカーコートは2面くらいの広さで、数百名が入れそうなスタンドもあり、日本で言う大学のグラウンドのようだった。また、サッカー専属のコーチを海外から招聘しており、非常にサッカーが上手だった。実力差はそれほどないと思うが、5対1で残念ながら当市選抜チームは敗れてしまった。夜は張家港市主催の歓迎会をしていただいたが、子ども達は手振り身振りで打ち解けて、最後は別れがたい雰囲気があり、良い交流ができたのではないかと思う。翌日は蘇州市の青少年活動センターという施設で、中国文化体験ということで、書道や墨絵の体験を私も含めて子ども達も体験させていただいた。

今後は中国、特に蘇州とスポーツ交流だけではなく、経済交流等まで視野に入れた交流を拡大していくことがこれから大事ではないかと思っている。蘇州市付近は経済発展著しい地域でもあるので大事に交流を続けていく必要がある。

・8月に入り、市内で多くのイベントが行われた。残念ながら台風接近により、多磨全生園納涼祭が中止となってしまったが、去年は雷雨で中止となった久米川阿波踊りが今年は開催され、大盛況で良かった。

・24日に市長会の研修で、栃木県宇都宮市に伺った。現在、LRT事業を進めているとのことと宇都宮市の副市長に講演をいただいた。北関東は車社会で、公共交通機関を利用しない方が7割を超えるということで、道路を整備しても朝夕の通勤ラッシュや、高齢化による移動手段の確保が難しいという課題に対応するため、ネットワーク型のコンパクトシティを目指しているとのことだった。印象深かったのは、徒歩・自転車・自動車、公共交通のデマンドやLRT、民間バス等様々な交通手段を組み合わせることによって、まちの活性化を図っていき、福祉と都市計画を連携していくことが大事だということをおっしゃっていた。当市も交通というのは、まちづくりにとっては大きな課題となるので、非常に勉強になった。市内での先進自治体の良い事例は、積極的に検討してもらい、住みよい、住み続けたいまちに繋がるようお願いする。

2. 報告事項

(1) 補助金に関する調査の実施について

・補助金については、個別の実態にあわせて逐次、見直しを行っているが、第3次行革実行プログラムとして、補助金のガイドラインの策定を進めている。基礎情報のとりまとめを目的として、平成24年度に調査を行っているが、更新と現状確認等も含め再度、全庁的に調査を実施する。

(2) 時間外勤務の縮減に向けた取り組みについて

・平成29年度実績は前年度比で0.7%、4年連続の減少となったが、依然として9万時間を超える高い水準。引き続き縮減に向けた取り組みを続けていく。例年同様に縮減目標を設定し、月2時間の時間外勤務を削減する取り組み、及び時間外勤務削減を職員に意識づけするという意味で、あらためて事前申請の徹底、時差勤務制度等の活用を引き続き、実施していく。

3. その他

〈平成30年7月西日本豪雨に伴う被災地支援職員派遣について〉

・平成30年7月豪雨に伴う被災地支援職員派遣について東京都から市長会事務局に連絡があり、派遣については8月31日（金）をもって終了する。

〈大雨警報について〉

・昨日（8/27）も大雨警報が20時6分に発令された。市内は19時～20時で11ミリ程度だったが、昨日もまちづくり部の8名体制で配備したが、また来週も台風21号が日本に接近するという予報なので引き続き、庁内で情報提供する。

〈中国人留学生受入れ事業について〉

・ホストタウンである中国蘇州市からの留学生受入れ事業に伴い、9月14日に歓迎レセプションを実施する。来年の7月まで約1年間の予定で、市内のホストファミリーにお世話になりながら、明治学院東村山高校に通う。今後、各部のイベント等に参加させてもらい、交流を図ってきたい。

〈庁内Wi-Fi設置等について〉

・包括施設管理委託における独自提案として公共施設の利便性を上げるという提案された、Wi-Fiの設置場所を、市役所本庁舎1階と中央図書館2階読書室の二か所で設置を行い、稼働は10月1日頃を予定している。市民の方には10月1日号市報とホームページで周知予定。

・もう1点、同じく包括施設管理委託の提案として、本庁舎1階窓口の番号表示機を広告付きの番号表示機に変更する。既存の番号表示機のリース期間が本年9月末で終了するのに伴い、負担なしで広告付きの番号表示機を設置することが可能となった。設置個所は、本庁舎1階市民課と保険年金課窓口の予定。

4. 閉会(副市長)

夏の疲れが意外に溜まってくる時期。9月定例会も始まる。体調にはくれぐれも注意してほしい。